

髭櫓

高澤祐介



狂言



の会

はじめのかい

〜其の十八〜

三番叟

披キ

金田弘明



狐塚

前田晃一



吉川秀樹

大塚出

2018年7月29日(日) 14時開演(13時開場) 喜多能楽堂

第十八回 一の会

三番叟

三番叟 金田 弘明
面箱 倉田 周星

笛 成田 寛人
小鼓頭取 飯富 孔明
小鼓脇鼓 田邊 恭資
小鼓脇鼓 清水 和音
大鼓 大倉慶乃助

狐塚

太郎冠者 前田 晃一
主 吉川 秀樹
次郎冠者 大塚 出

男 高澤 祐介
妻 前田 晃一
早打ち 土屋 光
立衆 吉川 秀樹
大塚 出
倉田 周星

笛 成田 寛人
小鼓 飯富 孔明
大鼓 大倉慶乃助
太鼓 林 雄一郎

【終演時間 十六時頃】

演目紹介

三番叟

さんばそう

能楽の世界では「翁」という曲を、神聖な祝言曲として特別に大事に扱われています。狂言方の勤める、五穀豊穡を寿ぐとされる「三番叟」は、足拍子を多用して躍動感溢れる『揉の段』と、大地に種をまく所作を模し、静から動へと鮮やかに変化する『鈴の段』の二段に別れています。劇的な筋立てはありませんが、音楽的、舞踏的に、いかにも荘重で力強い曲です。

狐塚

きつねづか

狐塚の田が収穫の時期を迎えました。主人は太郎冠者を呼び出し鳴子を持たせ、鳥獣から田を守るよう命じます。太郎冠者は狐塚には狐が出て人を化かすと怖がりますが、主人の言いつけに従い、鳴子を鳴らして鳥を追い払います。やがて日が暮れ、心配して様子を見に来た次郎冠者を、狐が化けたものと思ひ込んだ太郎冠者は、鳴子縄で縛ってしまいます。続いてやってきた主人も縄に縛り付ける

髭櫓

ひげやぐら

自慢の大髭を認められて、宮中の大祭で大役を仰せつかった男は、衣装万端を妻に用意するよう言いつけます。しかし家計は火の車。無理な言いつけに反対する妻が、髭を剃ってしまうと詰め寄ると、怒った夫に屋敷を追い出されてしまいます。そこで妻は近所の女房衆を引き連れ、夫の髭を抜こうと、様々に武装して男に押し寄せます。対する男は大事な髭に櫓を組んでこれを防ぐのですが…

主催 一の会

監修 三宅右近



倉田周星



土屋光



大塚出



金田弘明



吉川秀樹



前田晃一



高澤祐介

2018年7月29日(日) 14:00 開演 (13:00 開場)

喜多能楽堂

A席 4,000円
B席 3,500円
自由席 3,000円

お問い合わせ：一の会事務局

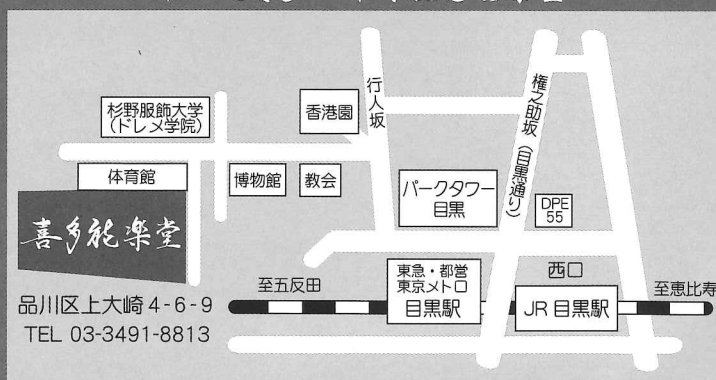
Tel/Fax : 03-5312-7533 (金田)
hajime@kyougen.mail-box.ne.jp
http://hajime.sakuraweb.com



座席表

2階 自由席

十四世喜多六平太記念能楽堂



品川区上大崎 4-6-9
TEL 03-3491-8813

JR、東急目黒線、地下鉄三田線・南北線の目黒駅西口より徒歩7分。